

1. 事業の位置付け

事務事業名	男女共同参画意識改革事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	2007年～2016年
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 公募市民委員、市民活動団体】		
目的・目標		事業の概要	
男女平等の意識啓発を推進し、男女共同参画に対する理解と認識が深まっています。		男女共同参画の推進に必要な意識改革を図るため、啓発講座などを開催し、情報誌を発行します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	啓発講座等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	12	12	12	9		
	実績	9	11	8	8		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	啓発講座等参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	2300	2300	2300	1400		
	実績	1630	1402	1114	1374		
成果指標②	指標名	啓発講座等の内容の理解度				単位	%
	説明・算定式	講座等実施時のアンケートにおいて「理解できた」と回答した人の割合(H22年度から設定)					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	—	—	—	80		
	実績	—	—	—	95		

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高いと考えています。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高いと考えています。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高いと考えています。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民活動団体との連携協力による講座等の企画実施など、事業手法の効率化を確保しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		啓発講座などの開催、 情報誌の発行	啓発講座などの開催、 情報誌の発行	啓発講座などの開催、 情報誌の発行	啓発講座等の開催、情 報誌の発行
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,769	2,640	2,572	1,338
事業費 (A)		2,769	2,640	2,572	1,338
執行率 (%)		71.38	68.06	66.31	69.26
内 訳	職員 (人)	0.81	1.15	0.80	1.31
	再任用 (人)	0.15	0.20	0.00	0.00
人件費 (B)		7,312	10,336	6,685	10,820
フルコスト (A+B)		10,081	12,976	9,257	12,158

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進 捗 状 況	遅れている 理由	②:若干遅れている 市民活動団体との共催講 座数が、当初の見込みを 下回った。	①:予定どおり -	③:遅れている 共催講座の回数が当初の 見込みより減少し、また、 予定の講座を一部取り止 めたため。	②:若干遅れている 予定していた講座が実施 できなかったため。
	主な取組と成果	男女共同参画フェスティ バルの講演会、企画実行 委員会「宙」の講座、市 民活動団体との共催によ る講座、DV防止講演会な どの開催により、男女共 同参画に関する意識啓発 をすることができた。	男女共同参画フェスティ バルの講演会、企画実行 委員会「宙」の講座、市 民活動団体との共催によ る講座、DV防止講演会 などの開催により、男女 共同参画に関する意識啓 発をすることができまし た。	男女共同参画フェスティ バル講演会、市民活動団 体との共催による講座、 デートDV防止講座、 ワーク・ライフ・ balan ス講演会の開催により、 男女共同参画に関する意 識啓発をすることができ ました。	デートDV防止講座、市 民活動団体との共催によ る講座等の開催により、 男女共同参画に関する意 識啓発をすることができ ました。
検証結果		B:おおむね成果があがった	C:十分に成果をあげることができなかった	C:十分に成果をあげることができなかった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた 課題		必要性、有効性、妥当性 は高い。事業企画運営に 伴う会議の開催回数や進 め方を工夫するなどして 効率性の向上を図る必要 がある。	必要性、有効性、妥当性 は高い。事業企画運営に 伴う会議の開催回数や進 め方を工夫するなどして 効率性の向上を図る必要 があります。	必要性、有効性、妥当性 は高い。事業の企画実施 にあたっては市民活動団 体との連携協力の工夫を するなど、効率性の向上 を図る必要があります。	必要性、有効性など全て の項目での評価は高い が、より効果的な実施に 向けて、市民活動団体や 他機関との連携協力を進 めていくことが重要と考 えています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	あらゆる分野への参画推進事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	2007年～2010年
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画し、能力を発揮しています。		男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野の活動に参画し、能力を発揮できるようにするため、各種講座を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	講座開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	3	2	2	2		
	実績	4	3	2	2		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	講座参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	80	60	60	60		
	実績	72	30	49	23		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画の推進につながるものであり、有効性は高い。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	関係団体との事業企画実施時における役割分担の確立など、プロセスの効率化を実現しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		講座の開催	講座の開催	講座の開催	キャリア開発、再就職のための講座の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	150	140	70	64
事業費 (A)		150	140	70	64
執行率 (%)		107.14	200.00	100.00	91.03
内訳	職員 (人)	0.19	0.15	0.14	0.16
	再任用 (人)	0.05	0.05	0.00	0.05
人件費 (B)		1,766	1,431	1,170	1,492
フルコスト (A+B)		1,916	1,571	1,240	1,556

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり -	①:予定どおり -	①:予定どおり -	①:予定どおり -
	主な取組と成果	働く女性のためのキャリア開発講座、再就職チャレンジ講座の開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができた。	働く女性のためのキャリア開発講座、再就職準備ワークショップの開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができました。	働く女性のためのキャリア開発講座、再就職準備ワークショップの開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができました。	働く女性のためのキャリア開発講座、再就職準備セミナーの開催により、社会参画の促進と能力発揮に資する機会を提供することができました。
検証結果		A:成果があがった	C:十分に成果をあげることができなかった	B:おおむね成果があがった	C:十分に成果をあげることができなかった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座参加者の増加につながるよう、講座内容の層の充実を図っていく。	必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座内容や実施時期、実施方法など検討し、講座参加者の増加を図っていきます。	必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座内容や実施時期などを検討し、講座参加者の増加を図っていきます。	必要性、有効性など全ての項目での評価は高い。講座内容や実施時期などを検討し、講座参加者の増加を図っていきます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	女性に対する人権尊重事業		
事業担当	市民部 人権・男女共同参画課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'03	3 男女共同参画意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	相談者	事業期間	2007年～2016年
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
相談者の不安や悩みが解消され、相談者が自分自身で解決の方向が決められるようになっていきます。		女性の不安や悩みを解決に導くため、相談窓口を開設します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談窓口開設日数				単位	日
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	243	243	243	243		
	実績	246	243	242	243		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	相談件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	560	620	620	620		
	実績	664	780	785	776		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	国の最重要課題として位置づけられている男女共同参画施策に関する事業であり、必要性は高い。 相談者の問題解決を図るうえで、非常に有効であります。
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	男女共同参画社会基本法に基づき策定した市の男女共同参画計画において位置づけている事業であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性			相談者のニーズに十分対応でき、且つ、多くの市民の相談を受けることができるよう効率性の向上を図る必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		相談窓口の開設、法律 相談会の開催	相談窓口の開設、法律 相談会の開催	相談窓口の開設、法律 相談会の開催	相談窓口の開設、法律 相談会の開催
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,935	4,961	4,776	4,841
事業費 (A)		4,935	4,961	4,776	4,841
執行率 (%)		98.76	99.12	95.42	94.59
内 訳	職員 (人)	0.20	0.80	0.62	0.71
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.05
人件費 (B)		1,679	6,713	5,181	6,035
フルコスト (A+B)		6,614	11,674	9,957	10,876

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進 捗 状 況	遅れている 理由	①:予定どおり -	①:予定どおり -	①:予定どおり -	①:予定どおり -
	主な取組と成果	相談窓口を246日開設し、664件の相談(来室相談227件、電話相談437件)を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができた。664件のうち、DV相談は155件、外国人からの相談は32件あった。	相談窓口を243日開設し、780件の相談(来室相談221件、電話相談559件)を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができました。780件のうち、DV相談は113件、外国人からの相談は16件ありました。	相談窓口を242日開設し、785件の相談(来室相談298件、電話相談487件)を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができました。785件のうち、DV相談は110件、外国人からの相談は24件ありました。	相談窓口を243日開設し、776件の相談(来室相談296件、電話相談480件)を受け、女性の不安や悩みの解決に結びつけることができました。776件のうち、DV相談は108件、外国人からの相談は24件ありました。
検証結果		A:成果があがった 平成21年度への展開	A:成果があがった 平成22年度への展開	A:成果があがった 平成23年度への展開	A:成果があがった 平成24年度への展開
今後に向けた課題		平成19年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は352件であった。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題である。	平成20年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は378件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。	平成21年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は499件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。	平成22年度に相談希望者への即時対応できなかった件数は431件ありました。今後、相談時間配分の工夫により効率性の向上を図るとともに、相談需要に迅速かつ円滑に応じられる相談体制の整備が課題となります。